

## 先進事例の紹介

# 大阪府（健康医療部医療対策課）

### 【主な取組】

- 知事自らクーポン券で抗体検査を受検。その経験を踏まえクーポン券利用の呼びかけ（9月定例記者会見）
- デジタルサイネージを、Osaka Metro(地下鉄)で放映（12月）
- 企業人事担当向け各種セミナーにおいて呼びかけ（10月～）
- 府職員向け臨時風しん抗体検査の実施（10月）

### <臨時抗体検査の概略>

- ・今年度対象職員を対象に計8回実施（国派遣者や48～54歳も受検可能）
- ・受検中の勤務扱いは、職務免除
- ・健診を委託している医療機関が、追加費用無しで府庁に出張
- ・受検票の事前送付を行い、受検の呼びかけ

👉 **実施結果：対象者726人のうち、約426人が受検(受検率65.5%)**

### 【取組に至った理由】

クーポン券対象者は、40・50代の働き盛りの男性のため、受診機会をなかなか作れない状況です。

クーポン券利用率を向上をさせるためには、各職場において風しん対策に取り組むことが必要です。

そこで、府が積極的に風しん対策に取り組む姿勢を示すことにより、企業の風しん対策に対する意識を高め、風しんへの取組の促進を図るため、臨時抗体検査の実施や啓発等を立案しました。



吉村知事受検の様子



臨時抗体検査の様子



Osaka Metro主要駅にてデジタルサイネージで啓発



企業向けセミナーにおいて呼びかけ

### 【皆様にメッセージ】

風しんのまん延によって、一番被害を受けるのは、妊婦と生まれてくる赤ちゃんです。被害をなくするためには、社会全体で風しん対策に取り組む必要があります。

今回、府でも実施しましたが、健診機関の調整と、会場の準備だけで、追加費用もかからず、簡単に臨時抗体検査を実施することができます。ぜひ皆様の職場でも健診等で抗体検査を実施していただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 先進事例の紹介

## SHIMANO 株式会社シマノ

## 【主な取組】

- 2019年7月17日、安全衛生委員会で検討  
⇒ 全社的に対応することを満場一致で決定
- 7月19日、社内診療所と社外の病院に協力要請
- 7月25日、社内の対象者（約470名）に抗体検査の実施を連絡
- 8月2～15日（1日2時間 8日間）、風しん抗体検査を実施

## ＜社内の抗体検査の概略＞

- ・ 対象者 約470名中、約280名に抗体検査を実施  
⇒ 受診率 約60%（既に検査済みの社員は除く）
- ・ 抗体検査の結果、受診者の22%が十分な抗体がないと判明
- ・ 抗体不十分の方に、ワクチン接種の機会も提供
- ・ クーポン券の利用で会社の費用負担はなく、実施できた。  
（社外の協力医療機関とも良好に連携）

⇒ **社内の抗体保有率を90%以上にする目標を早々に達成**

## 【取組に至った理由】

- ・ 2018年の夏以降、弊社がある大阪府で風しんの感染が拡大しており、大阪府内で先天性風しん症候群（CRS）も発生したことを重く受け止めた。
- ・ 女性職員の子育て支援のために、企業の社会的責任として、風しん対策に取り組む必要がある。
- ・ 風しんワクチンを定期接種で受ける機会がなかった40～50代の男性を対象に、公費で抗体検査や予防接種を受けられる対策を国が講じたため、企業側の費用負担無しで取り組める時期であることも決め手の一つ。

## 【皆様にメッセージ】

- ・ 会社の費用負担なしに1ヶ月程の短期間で従業員向けに抗体検査を行うことができました。
- ・ 風しん対策は1社だけでなく、社会全体で実施して成果が出るものですので、皆様の職場でも是非、実施をご検討ください。
- ・ 弊社では、定期健康診断とは別の機会に風しんの抗体検査を単独で実施しました。
- ・ 健診の機会と併せて検査する場合より、採血回数が増えるデメリットはありますが、定期健康診断と同時に抗体検査を行うための調整等の煩雑さを回避できましたのでお勧めです。